



VOLVO CAR JAPAN

Press Release

2018年12月17日

3名のデザイン責任者の共同体制により、 ボルボ・カーズの受賞ラインナップに貢献

本プレスリリースは、12月17日スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

ボルボ・カーズを世界有数のプレミアムカー・ブランドの1社として作り上げたのがこの3名のデザイン責任者でした。トーマス・インゲンラート、ロビン・ペイジ、マクシミリアン・ミッソーニは、個性を出しながら協調するというアプローチを通じて、スカンジナビアンデザインの開発に誇りと自信を持って緊密に協力合っています。



ロビン・ペイジ(左) マクシミリアン・ミッソーニ(中央) トーマス・インゲンラート(右)

先週ストックホルムで行われた特別イベントで、ボルボ・カーズは初めて3名のデザイン責任者と彼らがデザインした新型車の全ラインナップを紹介しました。

この新しいラインナップは近年のボルボの財務および事業の変革の成果を示す一例であり、2014年以來、世界販売台数の過去最高記録を5年連続で更新し、著しい収益改善を実現しました。

報道関係お問い合わせ先
ボルボ・カー・ジャパン 広報部
Email : vcjpr@volvocars.com TEL : 03-5404-8611(代表)

ボルボ車のエクステリアを変え、近年のボルボ・ブランドの再活性化に貢献した3名のデザイナーは、今後、ボルボの電動化や自動運転への取り組みによる未来をデザインする機会に集中していきます。

2014年に発売された大型SUVのXC90は、ボルボの新しいデザイン言語を採り入れた最初のモデルでした。このモデルのデザインが、真のプレミアムなプロポーションを実現するモジュラー・ビークル・アーキテクチャーSPA/CMAをベースとする90シリーズ、60シリーズ、40シリーズのデザインの方向性を決めました。

ラインナップに並ぶ3台のSUVすべてが北米、アジア、ヨーロッパの荣誉あるカー・オブ・ザ・イヤーを受賞しており、ボルボの新しいデザイン言語の成功を裏付けています。

ボルボ・カーズ、チーフ・デザイン・オフィサーのトーマス・インゲンラートは次のように語っています。「マックスとロビンと働くことはとても楽しいです。お互いにそばにすることが快適で、共に働くことで影響し合っています。私が最も誇りに思っているのは、人々が望む魅力的な商品をデザインすることで、この驚くべきブランドへの人々の関心を高め、このスカンジナビアン・ブランドをプレミアム・ブランドへと正しく導いているという点です。」

ボルボ・カーズのデザイン担当上級副社長のロビン・ペイジは次のように語っています。「私達は実に友好的な関係であり、同僚として共に働けて良かったと思います。トーマスが戦略を立て、マックスと私がボルボに入社し、彼のビジョンを実現するために必要なチームと一緒に作りました。その結果が現在の姿であり、素晴らしいラインナップなのです。」

エクステリア・デザインの責任者であるマクシミリアン・ミッソーニは次のように語っています。「私達は、ボルボのデザインをプレミアム・セグメントに相応しいレベルへと高めることができたと思います。トーマスの最大の強みは、彼に先見性があることと、トレンドのセンスに優れている点です。またロビンは、ボルボのインテリア・デザインや品質を絶対的な基準へと変えました。」

チームの協調的な取り組みは、デザインの範疇を超えています。例えばボルボ・カーズのセーフティ担当と緊密に協力しながら、「360cコンセプト」で示した将来の自動運転車の対話方法を開発しました。このコンセプトは、新しいビジネスの可能性を開くというクリエイティブ・デザインの価値も示しています。

「我々は過去5年間でボルボが今の場所に辿り着くまでの大規模な変化を見てきました。この変化はクルマのデザインに現れており、ボルボやスカンジナビアをととてもよく表しています。次世代のクルマを見て、新しいテクノロジーをどのように取り入れるのか、スカンジナビアのデザインの本質をどのように生み出していくのが楽しみです。」と、ロビン・ペイジは述べています。